平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	防犯体制の強化	予算科目	会計	一般会計	01
部 課	総務部 総務課 庶務班		款	消防費	09
連絡先	889－4415		項	消防費	01
施策の大綱	地域防災･防犯体系の確立		目	災害対策	02

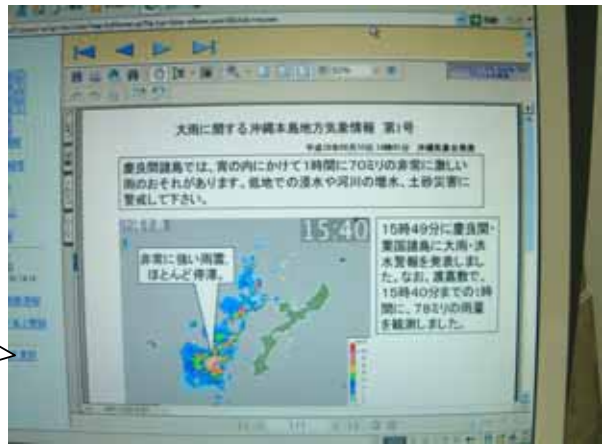
事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町民	台風や各種災害時での地域住民と防災関係機関の連絡体制の強化を図る事を目的とします。

事業の実施内容

1, 沖縄県防災情報システム市町村負担金 (予算額:117千円 決算額:117千円)
予算科目 (9款 消防費 1項 消防費 2目 災害対策費)

負担金の主な使い道は、次のとおりです。
- ･コンピュータのサーバー保守料
- ･新規開発ソフトの保守料
- ･ライセンス、バージョンアップ料
- ･気象情報提供料
- ･インターネットプロバイダー料

このように、パソコンを使って、最新の気象情報等を入手しています。



事業の成果

･沖縄県防災情報システムのパソコンを利用し、気象台の気象情報を一早く入手することにより災害時における災害対策本部設置の判断材料としたり、被害が発生しそうな場合は各自治会へ連絡し、各自治会から住民の方へ注意を呼びかけるマイク放送を実施してもらいました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	117	117					117

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	沖縄県総合行政情報通信ネットワーク整備事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　総務課　庶務班		款	消防費	09
連絡先	889－4415		項	消防費	01
施策の大綱	地域防災･防犯体系の確立		目	災害対策費	02

事業の目的	対象（誰を･何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民	地域間の情報発信の活性化や行政情報伝送の効率化、防災対策の迅速･的確化を図ります。

事業の実施内容

1,　沖縄県総合行政情報通信ネットワーク負担金　　1,721千円

負担金主な使い道は、次のとおりです。

･ネットワーク構築整備工事費の起債（借金）の返済のための経費（地上系）

･電気通信事業者への有線回線の通信料　（有線系）

2,　沖縄県総合行政情報通信ネットワーク運営協議会負担金　　118千円

負担金主な使い道は、次のとおりです。

･ネットワーク機器の保守点検委託料等

･無線従事者養成課程研修の委託料

事業の成果

沖縄県や各市町村、気象庁（防災情報、住基ネット･国保ネット･介護ネット）との情報連絡体制を強化する上で、沖縄県総合行政情報通信ネットワーク（通信設備）を利用した通信網は災害に強い事から安心して利用できました。地域間の情報発信の活性化や行政情報伝達の効率化、防災対策の迅速･的確化を図ります。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,846	1,845					1,845

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	防犯対策事業	予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　総務課　庶務班		款	総務費	02
連絡先	889－4415		項	総務管理費	01
施策の大綱	地域防災･防犯体系の確立		目	防犯対策費	07

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	自治会等	町内を明るくする事で犯罪者を寄せつけないまちを形成します。

事業の実施内容

1, 自治会防犯灯の設置修繕費補助金
○防犯灯設置･修繕事業費
･設　置　　14灯　　10自治会　　395千円
･修　繕　　414灯　　14自治会　　1,064千円

○集落間防犯灯工事費　　756千円
･町道25号線　(南風原中学体育館～宮平ハイツ入口の間)
･町道25号線　(宮平ハイツ入口～空港自動車道側道の間)

○集落間防犯灯電気料　　247千円

○集落間防犯灯修繕料　　64千円

← 集落間防犯灯の設置例

2, 地域安全活動(防犯)推進団体への助成･負担金
○与那原地区防犯協会分担金　　578千円
･小中学校での防犯対策講演会を実施したり、防犯功労者の表彰を行いました。
･毎月3日は、ちゅらさん運動(防犯関係のビラの配布など)を実施しました。

○与那原地区少年補導員協議会補助金　　97千円
･地域の祭り等で防犯街頭指導を行いました。
･薬物乱用防止街頭キャンペーンへを実施しました。

○(社)沖縄被害者支援ゆいセンター補助金　　21千円
･犯罪や交通事故の被害者又はその家族が抱える悩みやこころのケアを実施しました。
(電話相談件数　250件　　直接支援　17件)

事業の成果

各自治会に防犯灯を設置することにより、犯罪者を寄せ付けない安全な町並みを形成しています。また、町民の治安維持が図られました。町民の犯罪意識の向上や啓発に努めると共に、青少年犯罪を未然に防ぐことができました。特に、南風原町内の窃盗犯罪が18年と17年を比較して減少しているのは、与那原警察署及び与那原地区防犯協会から助言を受けるとともに、地域防犯協力隊の結成による町内の自主防犯組織の活動が強化されました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,586	2,525					2,525

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	兼城･黄金森公園災害復旧事業	予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　都市整備課　施設整備班		款	災害復旧費	11
連絡先	889－1632		項	都市災害復旧事業費	04
施策	地域防災･防犯体系の確立		目	都市公園災害復旧費	01

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町民など	平成18年6月8日から6月12日までの梅雨前線豪雨により、黄金森公園の法面の地すべり滑動による被災箇所及び兼城児童公園の法面に表層崩壊による被災した箇所の早急な現状復旧を行います。(応急工事･単独事業)

事業の実施内容

平成18年災害復旧事業費(応急工事･単独事業)

	予算額	決算額	繰越額	
･人夫賃	70千円	69千円	0千円	
･委託費	2,942千円	2,835千円	0千円	(測量設計業務　一式)
･工事請負費	1,160千円	1,135千円	0千円	(応急工事費)
･原材料費	30千円	30千円	0千円	(砂袋､トラロープ等)

工事概要　土工　一式　植栽工　一式
土留工め工　一式　付帯工　一式

応急措置対処前

応急措置対処後

事業の成果

事業の進捗状況
災害復旧事業費(応急工事･単独事業)　100%
災害復旧事業費により応急措置としての工事を行ったことにより、補助事業の促進と公園利用者の安全は確保されました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,202	4,069					4,069

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	兼城児童公園都市災害復旧事業	予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　都市整備課　施設整備班		款	災害復旧費	11
連絡先	889－1632		項	都市災害復旧事業費	04
施策	地域防災･防犯体系の確立		目	都市公園災害復旧費	01

事業の目的	対象（誰を･何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	平成18年6月8日から6月12日までの梅雨前線豪雨により、兼城児童公園の法面に表層崩壊が発生して公園施設の側溝、フェンスが被災し公園利用者に施設の利用について規制を行い支障をきたしているので、災害復旧事業費により早期に原状復旧を行います。

事業の実施内容

平成18年災事業費

･工事請負費　　予算額：2，482千円　　決算額：2，482千円

･事　務　費　　予算額：　150千円　　決算額：　150千円

工事概要

復旧延長　20m

･U型側溝復旧工　L=20m
･フェンス撤去復旧　L=20m
･間知ブロック積　A=43㎡
･種子散布工　A=43㎡

単独事業費

･工事請負費　　予算額:　610千円　決算額:　609千円

着手前

竣工後

事業の成果

事業の進捗状況

災害復旧事業費　100%

災害復旧事業費により従前の効用を回復したことにより、公園施設の開放と利用者の安全が確保されました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,242	3,241	2,106		500		635

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	黄金森公園都市災害復旧事業	予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　都市整備課　施設整備班		款	災害復旧費	11
連絡先	889－1632		項	都市災害復旧事業費	04
施策	地域防災･防犯体系の確立		目	都市公園災害復旧費	01

事業の目的	対象（誰を･何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	平成18年6月8日から6月12日までの梅雨前線豪雨により、黄金森公園の法面に設置されているパイプ歪計の動態観測により、深さ10m付近において明瞭なすべり面変状を把握したため、地すべり滑動による被災と判断されたので、法面の下方にある池前広場の利用について規制を行ったことにより公園利用者に支障をきたしているので、災害復旧事業費により早期に原状復旧を行います。

事業の実施内容

平成18年災事業費

	予算額	決算額	繰越額
･工事請負費	54,999千円	21,630千円	33.369千円
･事　務　費	3, 462千円	3,462千円	0千円

【繰越理由】

黄金森公園都市災害復旧事業に伴う国土交通省との協議に時間を要したためです。

工事概要

復旧延長は35m　　足場工　774空m3　横ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ工　332m

抑止杭工　φ500　35本　間知ﾌﾞﾛｯｸ撤去復旧　18m3

単独工事

･工事請負費　予算額：　987千円　決算額：　987千円

舗　装　61㎡

着手前

竣工後

事業の成果

事業の進捗状況

災害復旧事業費　43．8%

災害復旧事業費により従前の効用を回復したことにより、公園施設の開放と利用者の安全が確保されました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	59,448	26,079	20,073		5,000		1,006

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	消防力の強化	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　総務課　庶務班		款	消防費	09
連絡先	889－4415		項	消防費	01
施策の大綱	消防・救急体制の強化		目	常備消防費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	東部消防管内（南風原町、与那原町、西原町、南城市の一部）	1市3町の生命と財産を、災害などから守り安全で安心して住めるまちづくりを進めます。

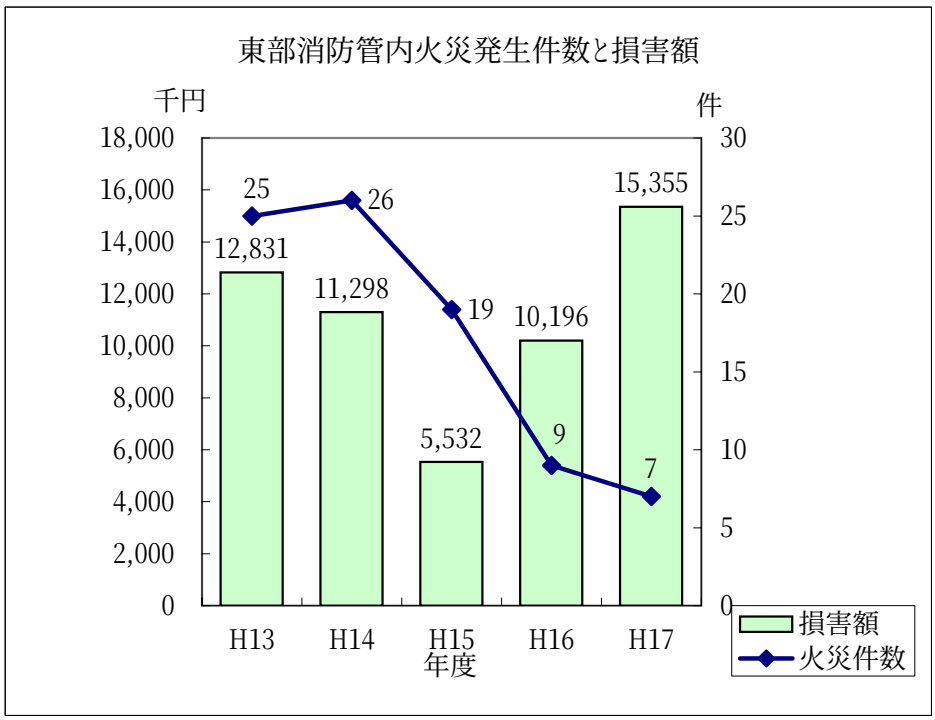
事業の実施内容

◆ 東部消防組合分担金　　333，409千円

東部消防組合は、南風原町、与那原町、西原町、南城市の一部（旧佐敷町）で負担金を出し合い、運営しています。

・各市町の平成18年度負担金額

南風原町	333，409千円
与那原町	175，556千円
西原町	408，344千円
南城市（旧佐敷町）	139，227千円
合計	1，056，536千円



事業の成果

地域住民の生命財産を災害等から守り、かかる被害の軽減を図るため、年々消防力の充実強化を図り「安全で、安心して住めるまちづくり」を推進することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	333,409	333,409					333,409

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	交通安全施設整備事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　まちづくり振興課　まちづくり計画班		款	総務費	02
連絡先	889－4412		項	総務管理費	01
施策の大綱	交通安全の推進		目	交通安全対策費	04

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町民など	交通安全施設の設置および修繕により、交通安全の向上を図ります。

事業の実施内容

○回転灯電気料金(本部36番地ほか3箇所)
　予算額　80千円　決算額　22千円

○修繕料
　予算額　1,000千円　決算額　961千円
　(修繕した内容など内訳)
　道路反射鏡調整修繕費　334千円
　横断防止柵及び道路反射鏡等修繕費　627千円

○工事費
　予算額　5,000千円　決算額　4,998千円
　(工事の内容など内訳)
　交通安全施設設置工事(町内全域)　2,174千円
　交通安全施設設置工事(宮平、兼城、本部、神里地内)　2,824千円

※平成18年度に実施した交通安全施設事業の一例

工事着工前
(道路反射鏡設置工事)

工事完了後

事業の成果

交通安全施設の設置および修繕により、町内交通安全の向上が図られました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,080	5,981				5,512	469

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	交通安全組織の強化事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　総務課　庶務班		款	総務費	02
連絡先	889－4415		項	総務管理費	01
施策の大綱	交通安全の推進		目	交通安全対策費	04

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民	交通安全組織の強化を図ることにより事故のない町を目指す。

事業の実施内容

1,　与那原地区交通安全協会負担金　　289千円
主な活動内容
・町内小学校、幼稚園、保育園、老人会等の交通安全指導を実施。
・交通安全ｼﾙﾊﾞｰｹﾞｰﾄﾎﾞｰﾙ大会を開催し、ｽﾎﾟｰﾂをとおして与那原所管内町村と交流を深めながら交通安全の啓蒙を行った。

2,　町交通安全推進協議会補助金　　336千円
主な活動内容
・地区交通安全協会及び与那原警察署と連携を図りながら町内の交通安全指導。
・毎月1日の早朝交通安全指導。
・新1年生児童へのランドセルカバー配付。

3,　町交通安全母の会補助金　　140千円
主な活動内容
・町内ヤクルトレディーと連携して、信号待ちのドライバーへ交通安全を呼びかけながらヤクルトの製品「ミルミル」を配付する「見る見る作戦」を行いました。
・新入学児童交通安全ウォーキングを実施。

4,　与那原地区交通安全運転管理者会費　　10千円

「ミルミル」を配布した「見る見る作戦」

高齢者交通安全教室

事業の成果

与那原地区交通安全協会によるシルバー交通安全啓発ゲートボール大会を行い交通安全の普及をはかりました。又交通安全母の会と協力しながら行った親子交通安全オォーキングには親子で約60名の参加が有り、警察官から親子で信号機の渡り方や、防犯対策として児童が不審者に襲われた場合の声をだす練習も行い防犯も含め交通安全の当初の目的は達成できました。また、小学校をとおして新入学児童にはランドセルカバーの配付も行いました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	775	775					775

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	ごみ処理対策事業	予算科目	会計	一般会計	01
部 課	総務部 住民環境課 環境班		款	衛生費	04
連絡先	889－1797		項	清掃費/保健衛生費	1/2
施策の大綱	環境衛生･公害防止の推進		目	環境衛生/塵芥、し尿処理	4/1

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町民及び町内にある事業所など	ごみの分別収集を推進して廃棄物の排出を抑制するとともに、資源ごみの再資源化を図ることにより、町民の快適でうるおいのある生活を確保します。

事業の実施内容

主な経費

1 町内清掃･環境回復事業

★ 町内一斉清掃処理手数料 3,624千円

★ 町内一斉清掃ごみ運搬車使用料 600千円

2 ごみ処理事業

★ 家庭系ごみ収集･運搬委託料 36,000千円

★ 那覇市･南風原町環境施設組合運営負担金 12,237千円

★ 那覇･南風原クリーンセンター管理運営負担金 32,487千円

★ 那覇･南風原クリーンセンター建設負担金 10,688千円

★ その他の経費 824千円

★ 町指定ごみ袋作成費 8,708千円

★ 町指定ごみ袋販売委託料 5,923千円

3 事業系ごみ処理事業 114千円

4 資源ごみ処理事業

★ 資源ごみ収集･運搬委託料(南風学園) 24,552千円

★ ペットボトル処理委託料 3,482千円

★ ガラスびん再商品化委託料 147千円

★ 布･古着類処理委託料 338千円

5 粗大ごみ処理事業

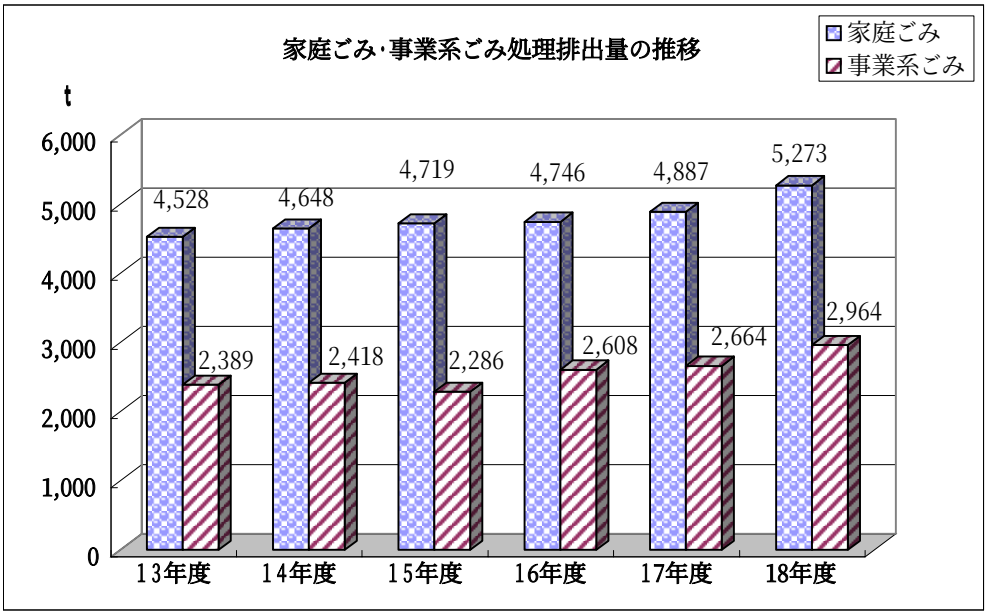
★ 資源･粗大ごみ収集･運搬委託料 5,040千円

★ 粗大ごみ収集運搬車購入費 1,424千円

★ 粗大ごみ処理券販売委託料 118千円

次ページへ続く

事業の実施内容



平成18年4月より本格稼働した
那覇･南風原クリーンセンター

事業の成果

平成18年4月から那覇･南風原クリーンセンターが本格稼働し、資源物の再利用や最終処分量の削減、さらに廃棄物発電施設も備え、「環境にやさしい資源･エネルギー還元施設」として、私たちが排出するごみを適正に処理することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	147,274	146,306				55,412	90,894

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	ごみ減量促進事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　住民環境課　環境生活班		款	衛生費	04
連絡先	889－1797		項	保健衛生費	01
施策の大綱	環境衛生･公害防止の推進		目	環境衛生/塵芥	04

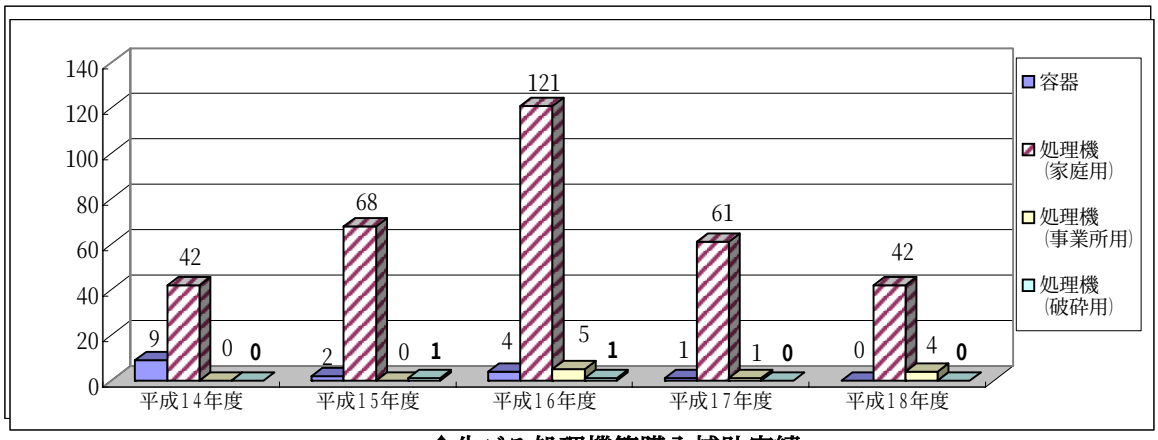
事業の目的	対象（誰を･何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民等	ごみの減量化を推進し、循環型社会の構築をめざしていきます。

事業の実施内容

★ 生ごみ処理機等購入補助金　2，832千円
　容器　0件、　処理機（家庭用）　42件、　処理機（事業所用）4件、処理機（破砕用）0件

★ エコセンター運営費　1，440千円
　60，000円×2人×12月＝1，440千円

★ 資源ごみ集団回収等事業報償金　1，625千円
　30団体



↑生ごみ処理機等購入補助実績

←エコセンター主催
　フリーマーケットの様子

事業の成果

生ごみ等処理機の購入補助を通してごみの堆肥化･減量化を促進し、ごみ減量に関心をもってもらうことができました。エコセンターでは、リサイクル情報の収集･提供、フリーマーケットや講座等を行っています。その活動を通して、循環型社会、豊かな自然環境保全へ向けての普及･啓発活動の拠点となっています。また、資源ごみ集団回収団体へ報奨金を交付することにより、資源の有効利用とリサイクルの推進をすることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,239	5,897				4,272	1,625

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	環境教育事業	予算科目	会計	一般会計	01
部 課	総務部 住民環境課 環境生活班		款	衛生費	04
連絡先	889－1797		項	清掃費	02
施策の大綱	環境衛生･公害防止の推進		目	塵芥･し尿処理費	01

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町民など	日常的な体験や自然との触れ合いを通じて、環境についての関心を高め、環境保全意識の普及･啓発を図ります。

事業の実施内容

主な経費

★ 子どもエコクラブ講師謝礼金 (予算額: 20千円 決算額: 10千円)

★ 子どもエコクラブサポーター謝礼金 (予算額: 54千円 決算額: 0千円)

野鳥観察会の様子

事業の成果

エコセンターと協力して、子どもエコクラブのサポートや学校での環境教育に取り組んだ。野鳥観察会や小学生の総合学習の中で資源ごみの分別作業を体験するなど、環境学習を行っています。今後もエコセンターや学校と連携をとって取り組んでいきます。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	74	10					10

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	環境美化推進事業	予算科目	会計	一般会計	01
部 課	総務部 住民環境課 環境生活班		款	衛生費	04
連絡先	889－1797		項	保健衛生費	01
施 策	環境衛生･公害防止の推進		目	環境衛生費	04

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	学校や各自治会及び町内全域 町民憲章推進協議会	地域の環境状況の把握、苦情処理、不法投棄の解消。学校や各字自治会での花いっぱい運動を推進します。

事業の実施内容

★ 町民憲章推進協議会(環境アップ事業)補助金 1,000千円

★ 環境保全啓発ポスター･立て看板等の購入費 399千円

★ その他の経費 80千円

ゴミの不法投棄禁止立て看板

ゴミの不法投棄

事業の成果

定期的に町内を巡回し、立て看板を設置するなど不法投棄の発見･解消に努めることができました。また町民憲章推進協議会に補助金を交付し、花や緑を増やし、地域の環境美化を推進することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,515	1,479					1,479

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	新最終処分場建設事業	予算科目	会計	一般会計	01
部 課	総務部 住民環境課 環境生活班		款	衛生費	04
連絡先	889－1797		項	清掃費	02
施策の大綱	環境衛生･公害防止の推進		目	塵芥し尿処理費	01

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	那覇･南風原クリーンセンターから最終的に排出される、処理飛灰･選別残渣･溶融不適物。	リサイクルできないごみを、最終的に海面最終処分場で埋め立て処理します。

事業の実施内容

★ 新最終処分場(那覇エコアイランド)建設負担金　　5,466千円

平成19年3月に竣工した新最終処分場(那覇エコアイランド)

事業の成果

新焼却炉は焼却灰を灰溶融炉で溶融することで鉄、銅等を含むメタルやスラグを生成し、残った処理飛灰･選別残渣･溶融不適物を最終的に排出しています。その排出されたリサイクルできないごみを最終的に処分する海面最終処分場が完成したことにより私たちが排出したごみを適正に処理処分することが可能となりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,466	5,466				5,466	0

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	指定ごみ袋還元基金事業	予算科目	会計	一般会計	01
部 課	総務部 住民環境課 環境生活班		款	衛生費	04
連絡先	889－1797		項	保健衛生費/清掃費	01/02
施策の大綱	環境衛生･公害防止の推進		目	環境衛生/塵芥･し尿処理	04/01

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町指定ごみ袋の売り上げ	ごみ袋の総売上額から必要経費を差し引いた額を、基金として積み立てます。

事業の実施内容

★ 前々年度の指定ごみ袋売り上げ収入　31,882千円 ･･･ ①

《前々年度の必要経費》

指定ごみ袋購入費　10,880千円 ･･･ ②

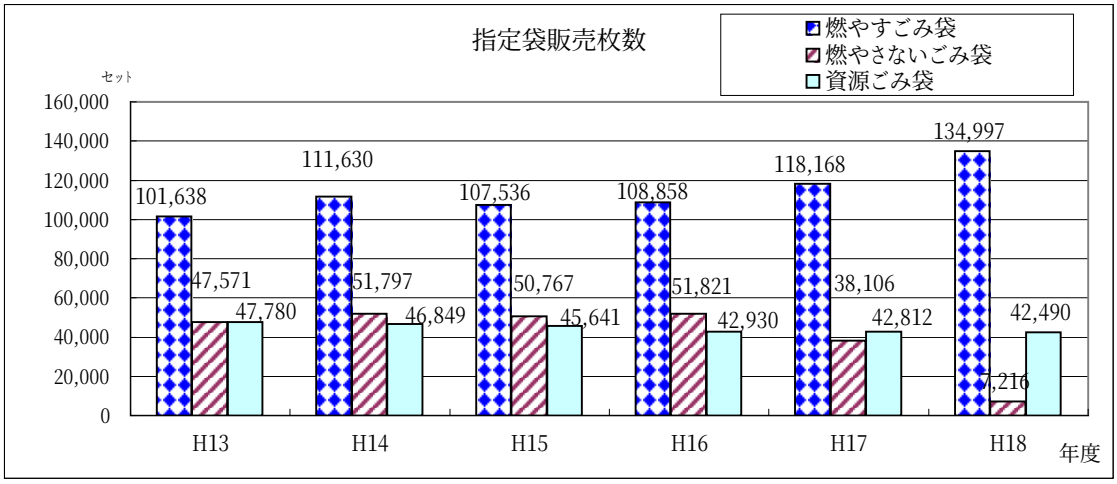
指定ごみ袋販売委託料　6,554千円 ･･･ ③

平成18年度の積立額(①-②-③)　14,448千円

《内訳》

ﾘｻｲｸﾙ基金積立金　7,224千円

一般廃棄物処理施設基金積立金　7,224千円



事業の成果

ごみ袋の売り上げ収入を、ﾘｻｲｸﾙ基金と一般廃棄物処理施設基金に積立ることで、その基金を活用した生ごみ処理機等購入奨励金や、エコセンターの委託運営による環境教育やﾘｻｲｸﾙ普及啓発、町民憲章推進協議会への助成等、地域の環境保全、環境美化の推進と廃棄物処理施設の建設を推進することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,448	14,448				14,448	0

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	リサイクル基金積立金	予算科目	会計	一般会計	01
部 課	総務部 住民環境課 環境生活班		款	衛生費	04
連絡先	889－1797		項	清掃費	02
施策の大綱	環境衛生･公害防止の推進		目	塵芥･し尿処理費	01

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町民など	基金積み立てによる、ごみの資源化･減量化等の事業促進。

事業の実施内容

★リサイクル基金積立金(予算額:7,224千円　決算額:7,224千円)

ごみの資源化、減量化事業を推進するため、指定ごみ袋収益金の半分を基金として積み立てています。

事業の成果

リサイクル基金を活用した事業等を実施することで、快適な生活環境づくりを推進することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,224	7,224				7,224	0

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	一般廃棄物処理施設建設等基金積立金	予算科目	会計	一般会計	01
部 課	総務部 住民環境課 環境生活班		款	衛生費	04
連絡先	889－1797		項	清掃費	02
施策の大綱	環境衛生･公害防止の推進		目	塵芥、し尿処理費	01

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町民など	平成18年4月本格稼働の新焼却施設と平成19年4月供用開始の新最終処分場の建設基金積み立て。

事業の実施内容

★一般廃棄物処理施設建設等基金積立金 (予算額:7,224千円 決算額:7,224千円)

平成18年4月に本格稼働した、「那覇市･南風原町環境施設組合」の新焼却施設(那覇･南風原クリーンセンター)と、平成19年3月に完成した新最終処分場(那覇エコアイランド)の建設費等は、負担金として「那覇市･南風原町環境施設組合」に支出しています。その負担金に充てるため、指定ごみ袋収益金の半分を基金として積み立てています。

新焼却施設「那覇･南風原クリーンセンター」のごみ焼却炉の搬入口となるプラットホーム

事業の成果

基金を毎年度積み立てて、建設費等の負担金に充てることで一般廃棄物処理施設の建設を推進することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,224	7,224				7,224	0

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

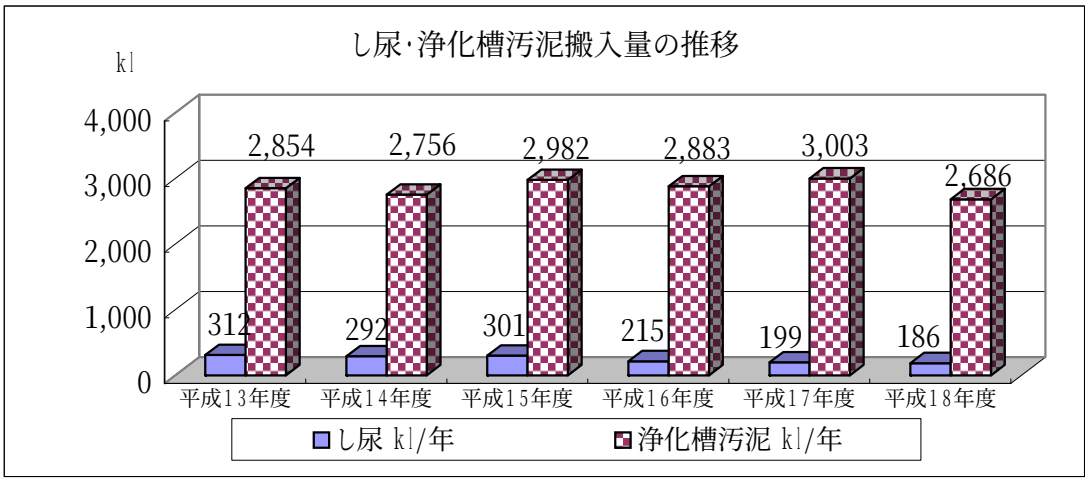
事業名	し尿処理対策事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　住民環境課　環境生活班		款	衛生費	04
連絡先	889－1797		項	清掃費	02
施策の大綱	環境衛生･公害防止の推進		目	塵芥し尿処理費	01

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	下水道の整備されていない地域など	一般家庭のし尿処理は、許可業者が収集運搬し、町が島尻消防清掃組合にその処理を委託する。

事業の実施内容

★　し尿処理委託料(予算額:28,242千円　決算額:27,281千円)
一般家庭のし尿･浄化槽汚泥は町内の許可業者(2名)が収集運搬し、町が島尻消防清掃組合(清澄苑)に処理を委託しているため、島尻消防清掃組合へ処理委託料を支払っています。

平成18年度実績
処理委託単価　･･････　1キロリットル当たり　9,500円
汚泥搬入量　　･･････　2,871,600リットル



事業の成果

下水道が整備されていない地域のし尿及び浄化槽の汚泥を処理し、環境と公共水域の環境保全を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	28,242	27,281					27,281

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	公害対策事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　住民環境課　環境生活班		款	衛生費	04
連絡先	889－1797		項	保健衛生費	01
施策の大綱	環境衛生･公害防止の推進		目	環境衛生費	04

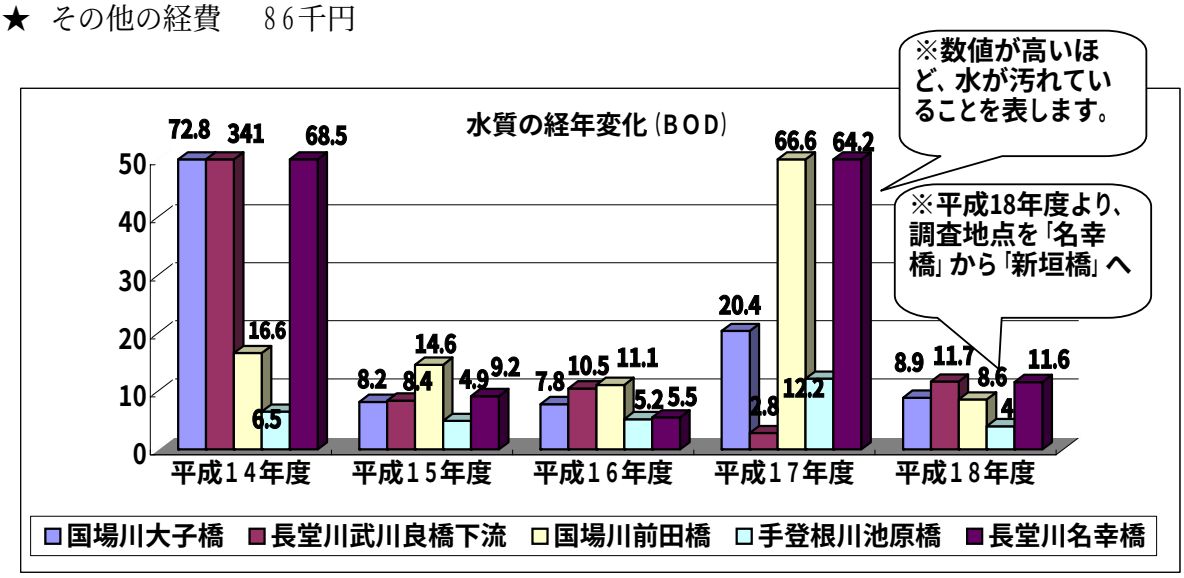
事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	国場川水質調査(町内5地点) 町内の道路要所(3地点)	公害対策事業を実施することにより、町民の健康を保護するとともに、生活環境を保全する。

事業の実施内容

★　国場川水系河川水質調査委託料　　400千円
町内の河川水質調査地点前田橋(宮城)、大子橋(兼城)、池原橋(兼城)、武川良橋下流(喜屋新垣橋(山川)を委託し年度毎の水質の実態を把握し河川水質汚濁の防止につなげます。

★　自動車騒音測定委託料　　420千円
町内道路要所3地点の自動車騒音調査を委託し、実態を把握します。

★　その他の経費　　86千円



★ 平成18年度自動車騒音測定ポイント(3箇所)

国道329号(字宮平661番地の1)

国道329号(字兼城603番地)

県道128号線(字津嘉山547番地)

事業の成果

国場川水系水質調査及び自動車騒音の測定調査を実施し、それぞれ貴重な基礎資料が得られ、今後の環境行政に活用することができます。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	959	906					906

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	そ族昆虫対策事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　住民環境課　環境生活班		款	衛生費	04
連絡先	889－1797		項	保健衛生費	01
施策の大綱	環境衛生･公害防止の推進		目	環境衛生費	04

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内全域(野鼠その他害虫)	ボーフラ･蚊･そ族害虫等の駆除及び生活環境の保全に努める。

事業の実施内容

★ 蚊･そ族昆虫駆除薬剤費　420千円

★ 蚊駆除委託料　184千円

★ その他の経費　153千円

①蚊(ボウフラ駆除)
　蚊の大量発生を防ぐため、駆除業者に委託(薬剤散布)して駆除を行っています。
･駆除場所:町内各字自治会の側溝、及び苦情があった場所(個人所有地を除く)

②ヤスデ対策
　大量に発生すると不快な害虫と呼ばれているため、駆除対策をしています。
･町ではヤスデ駆除剤を半額(1，200円を600円)で住民環境課で販売しています。

平成14年度～販売実績　(袋)

年　度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
販売実績	80	21	18	80	90

③ハチ対策
　ハチは、基本的に危険なので、個人所有地内外を問わず、町で駆除を行っています。しかし、床下など町で駆除が困難な場合は、個人所有地管理者に駆除をお願いしています。

平成16年度～苦情件数　(件)

年　度	16年度	17年度	18年度
苦情件数	4	10	16

スズメバチの巣

↑大量発生したヤスデ↑

事業の成果

蚊、ボウフラ、ヤスデ、ハチ等を駆除することで、町民の快適な生活環境を確保することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	981	757					757

平成18年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	野犬等対策事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　住民環境課　環境生活班		款	衛生費	04
連絡先	889－1797		項	保健衛生費	01
施策の大綱	環境衛生･公害防止の推進		目	環境衛生費	04

事業の目的	対象(誰を･何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内全域(野犬･野良猫)	狂犬病予防注射の実施を行い、また野犬等の捕獲を実施し、生活環境の保全に努めます。

事業の実施内容

★通信運搬費(狂犬病予防集合注射通知)　　76千円
本町では毎年5月頃に町内14カ所で狂犬病予防集合注射を実施しております。

★野犬の捕獲

野犬は人畜その他に危害を加える恐れがあるため町で捕獲を行っています。飼い犬が捨てられ野犬化したと思われる犬や、放し飼いされている犬が野犬と間違われて捕獲される 例が多く見られ、飼い主の自覚と責任が求められています。

★野良猫対策

猫は登録の義務がありません。しかし、屋敷内にふん尿をしたり、夜なき等で苦情があった場合は猫保護器の貸し出しを行っています。

★主な経費
猫用保護器購入費　　35千円

★その他諸経費　　70千円

年　度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
犬登録数	1,414	1,487	1,521	1,536
狂犬病予防注射数	733	860	829	772

事業の成果

狂犬病予防注射を実施することで、人間を含め多くの動物に感染の防止を図ることができます。また犬･猫の飼い主の自覚と責任が求められ、人畜その他に危害を防止することで、快適な生活環境づくりを推進することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	215	181					181